

サインポスト遺伝子検査（血液検査）とは

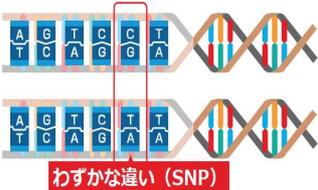
遺伝子を分析し、一度に 12 の生活習慣病等のリスクを評価

一つの遺伝子で全て決定するわけではない

一つの遺伝子で個人の体質、病気の進展・発症を決定付ける遺伝病のような遺伝子は極めて稀なもの（遺伝病）です。一般的な個人体質は、複数の遺伝子（SNP）と生活習慣の影響を受けていることが明らかになってきました。従って、一つの遺伝子だけで個人の体質を評価することはできません。

どうして遺伝子検査で病気のリスクがわかるの？

人間の設計図（遺伝子の配列）は、99.9%が同じですが、残りの 0.1%が個人の違いを生んでいます。この違いを SNP（一塩基多型）と言い、本検査ではこの違いを調べます。



わずかな違い（SNP）

また、大阪大学医学部の研究成果を中心として、多数の日本人データに基づいて評価しています。さらに、測定する遺伝子(SNP)は、科学的根拠が明らかになっており、極めて重要度が高い遺伝子(SNP)だけを採用しております。

食事や運動に気をつけていても生活習慣病になりやすい人もいれば、逆に何もなくても生活習慣病になりにくい人もいます。その個々の体質を調べるのが「サインポスト遺伝子検査」です。高血圧や脂質異常症、糖尿病など生活習慣病と関連が高い分野にプラスして、血管性の病気やアレルギー、物忘れなど気になる遺伝的リスクを事前に知り、対策を可能にする健康管理の新しい血液検査のご提案です。

検査項目（検査する遺伝子の数）	検査する遺伝子の主な働き
肥満（7）	脂肪の分解・燃焼・エネルギーへの変換、食欲調節の働き
体内老化（7）	活性酸素の除去及び作成・過酸化水素の分解・脂質酸化の抑制
動脈硬化（8）	血管の傷・炎症をおこしやすくする、善玉ホルモンを作りやすくする 血圧をあげる、新しい血管を作る、血管を固まらせる
コレステロール（7）	コレステロール（悪玉・善玉）の働き・中性脂肪の分解
高血圧（5）	血圧を高くさせやすくする
高血糖（8）	インスリンの働きを低下させる
血栓（5）	血液を固まりやすくする、血栓をできやすくする
アレルギー（4）	アレルギーをおこしやすくする
アルコール（3）	アルコール・アセトアルデヒドを分解する、アルコール依存のしやすさ
非アルコール性脂肪肝（7）	肝臓の炎症・脂肪蓄積・酸化をしやすくする、肝臓の代謝
ロコモ：筋力低下（5）	筋力の低下・老化をしやすくする、速筋の働き
もの忘れ（5）	アミロイドβ蓄積の促進、血管を傷つける物質の増加、 コレステロール代謝異常、脳神経細胞修復の弱さ、炎症反応の異常

ご自身の保有遺伝子（SNP）に基づくオリジナル報告書（約40ページ）には、遺伝子検査の結果と、それに基づくライフスタイル・推奨される栄養成分などをご提案します。

1 総合評価
検査結果とその遺伝的リスクを5段階で評価しています。

2 総合評価コメント
総合評価を簡潔にまとめています。

3 総合評価をグラフ表記
遺伝的リスクの位置に📍を表示しています。

4 保有リスク遺伝子多型
あなたが両親から受け継いだ遺伝子(※)のうち、リスクをいくつ保有しているかを示しています。

- 🍏🍏 リスク型を2つ保有しています。
- 🍏🍏🍏 リスク型を1つ保有しています。
- 🍏🍏🍏🍏 リスク型を保有しておりません。

(※) 遺伝子とは、2つ1組で成り立っています。

5 遺伝子の日本人保有頻度
あなたが保有する遺伝子型と同じ遺伝子型を保有している日本人の割合をグラフで表しています。(小数点以下は四捨五入しています。)

6 枠の色について
多型を保有していない遺伝子は網掛けがありません。多型を保有している遺伝子は黄色の網掛けで表示しています。なんらかの事情により測定不能であった遺伝子はグレーの網掛けで表示しています。

7 適正カロリー量
検査項目「肥満」検査では遺伝子情報、BMI値・活動レベルにより理想の体重に対する適正カロリーを算出します。

8 おすすめの栄養成分・生活習慣
遺伝子からおすすめされる生活習慣・栄養成分を表示しています。該当しなかったものは、グレーの網掛けで表示しています。

サインポスト遺伝子検査結果報告書サンプル

サインポスト遺伝子検査の特徴

- ・ 1回の血液検査で12項目の遺伝子検査
- ・ 内容の充実した報告書（わかりやすい検査結果と推奨されるライフスタイル、栄養成分をお知らせ）
- ・ 一生に一度の検査（測定する遺伝子は一生変わりません）
- ・ 検査費用 38,000 円（税別）